

地域おこし協力隊

がゆく



地域おこし協力隊の岩崎です。

5月20日（日）に道の駅かわプラザで開催されたジオネット常陸大宮主催のイベント「常陸大宮市の隠れた大地の魅力発見」にて、協力隊も参加しました。このイベントは月ごとにテーマが異なり、来年3月までの毎月第3日曜日に同会場で開催される予定です。

今回は「美味しいジオ」をテーマに、そばや鮎を取り上げた展示やジオ丼の講話と販売が行われました。ジオ丼とは、地球の歴史を食べて学べる丼です。私は、大地の産物として「こんにゃく」についての紹介パネルを作成し展示を行いました。歴史や作り方等を調べてみると、こんにゃくには匂があることを知りました。いつでも

食べることができるので実感がわきにくいですが、収穫したばかりのこんにゃく芋は痛みやすく、かつては芋の収穫期（秋冬）にしか食べられませんでした。それを江戸時代に諸沢で生まれた「中島藤右衛門」がこんにゃく芋を粉にしたことで長期保存が可能となり、一年中食べることができるようになりました。匂を気にせずにこんにゃくが食べられるのは藤右衛門のおかげですね。

環境インフォメーション

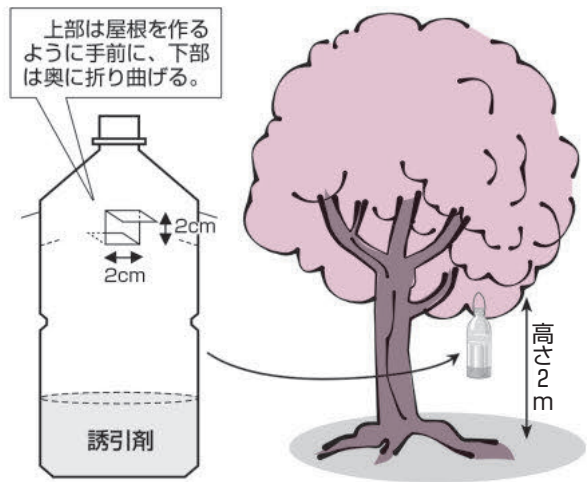
スズメバチ対策 ペットボトルで蜂トラップを作しましょう

春になると女王蜂は冬眠から覚めて、一匹で巣を作ります（営巣）。そして巣の中で卵を産み、狩猟をしながら働き蜂を育て、巣を徐々に大きくしていきます。家の近くや屋根裏などに巣が作られた場合、巣が巨体化する前に駆除できれば危険は少なくて済みます。

スズメバチ対策として、家庭でも簡単に蜂トラップが作れます。トラップで使用する誘引剤は、樹液と同じような匂いを作りだし、飛んでいる女王蜂をおびき寄せて捕獲します。蜂トラップの作り方の一例を紹介します。

- ◆材料 ① 2ℓまたは1.5ℓのペットボトル
- ② 酒300ml・酢100ml・砂糖125g
- ③ ひも

◆ペットボトルにカッターで蜂の入り口となる穴を2～4か所作り、ひもをつける。次に②をよく混ぜ合わせ誘引剤を作りペットボトルに入れる。木の枝など半日陰となるような所にぶら下げる。



注1 誘引剤が少なくなったら水または誘引剤を足してください。

注2 誘引効果は条件により異なる場合があります。



巣を作りやすい場所



頻繁に飛来している場合はどこから飛んでくるのか行き先を確認しましょう。家の周りを定期的に点検し、整理整頓を心掛け、資材などの物を長期間放置しないようにしましょう。